

第1章 ヘラウキ概論 その6

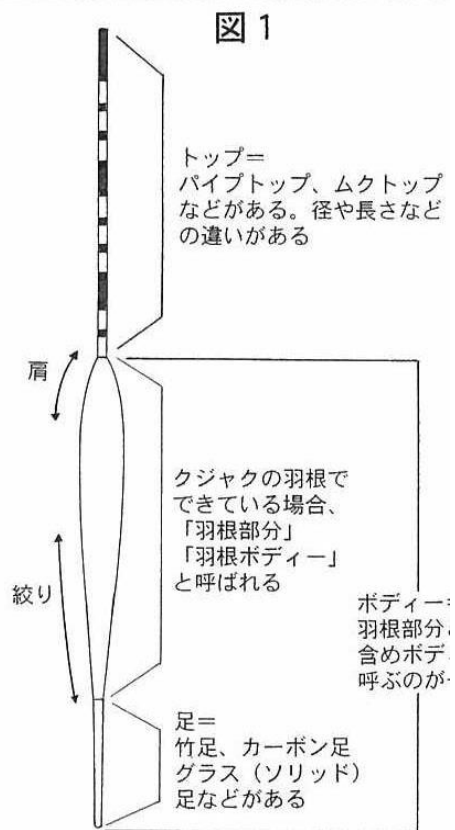
これまで4回にわたりウキのボディについて解説してきた。今回は、ヘラウキの足と呼ばれるパーツについて、解説していきたい。

1. ヘラウキの各部パーツの名称について

改めて、ウキの各パーツについて、おさらいをしておきたい。

ヘラウキは大別して、3つのパーツからなる。(図1参照)

具体的には、①ボディ、②トップ、③足 である。足については、「脚」と表記する場合もあるが、「へら専科」の基準により、ここでは「足」と表記する。



2. 足について

ヘラウキの足の素材も、トップと同様、様々な種類があり、それぞれ以下のように分類することができる。以前は、オールピーコックと呼ばれるものもあったが、最近では姿を消してきたため、割愛した。

No.	分類	特徴
1	竹	① 竹は竿の素材としても使用され、見た目では足の素材とし

		<p>て、一番マッチングする。また、比重が軽く水に浮くことから、ウキ全体の浮力（復元力）を増加させることができる。</p> <p>② 短所は、カーボンやソリッドと比較して強度が低い。このため、細く削りだせない、また、素材自体に曲がりがある。このため、底釣り用のあまり長さが必要でないタイプによく使用される。</p>
2	カーボン	<p>① 比重は重く水に沈む。また、強度があるため、細く長い足が製作可能である。こういった性質を生かして、足長ウキの足素材として、多用されている。また、硬度が高い（硬い）ため、ウキが立った後、安定する。</p> <p>② 短所は、加工が難しいこと、特に硬度が高いことから、羽根とカーボンの接合部分にクラック（ひび）が発生しやすい。</p>
3	ガラスソリッド	<p>比重は重く水に沈む。また、強度があるため、細く長い足が製作可能である。ただ、カーボンよりも硬度が低い（柔らかい）ため、ウキが立った後の安定感は、カーボンを足に使ったウキよりも、ブレが発生しやすいように感じる。しかしながら、カーボンよりも加工しやすいので、上記のようなクラックの問題はほとんど発生しない。</p>



画像1：中央が竹足、右下がカーボン製、左上がガラスソリッド製のウキ

5. 各足素材の比重について

ご存知のとおり、水の比重は1で、これよりも重ければ水に沈み、軽ければ水に浮く。ヘラウキを構成する各パーツの比重を分析することにより、次回以降のウキの立ち上がり、復元力を深く理解することが可能になると考える。

比重という言葉が辞書でひくと、「ある物質の質量と、それと同体積をもつ標準物質の質量との比。通常、セ氏四度の水を標準物質とする。」とある。簡単に言えば、比重とは、水1立方センチメートル1gに対する当たりの重さの数値比較である。

試験片はヘラウキの製作に使用しているものをそのまま使用しており、竹は天然素材であることから、バラツキがある。この結果はあくまで、目安ということで、ご理解をお願いしたい。

表の右側には、書籍や Web サイトで調べた数値を参考として、掲載している。

No.	分類	作者が実際に計測した比重	参考（書籍や Web サイトで調べた数値）
1	竹（編み棒の0番）	1.01	0.69
2	カーボン	1.40	1.80
3	グラスソリッド	1.91	2.50

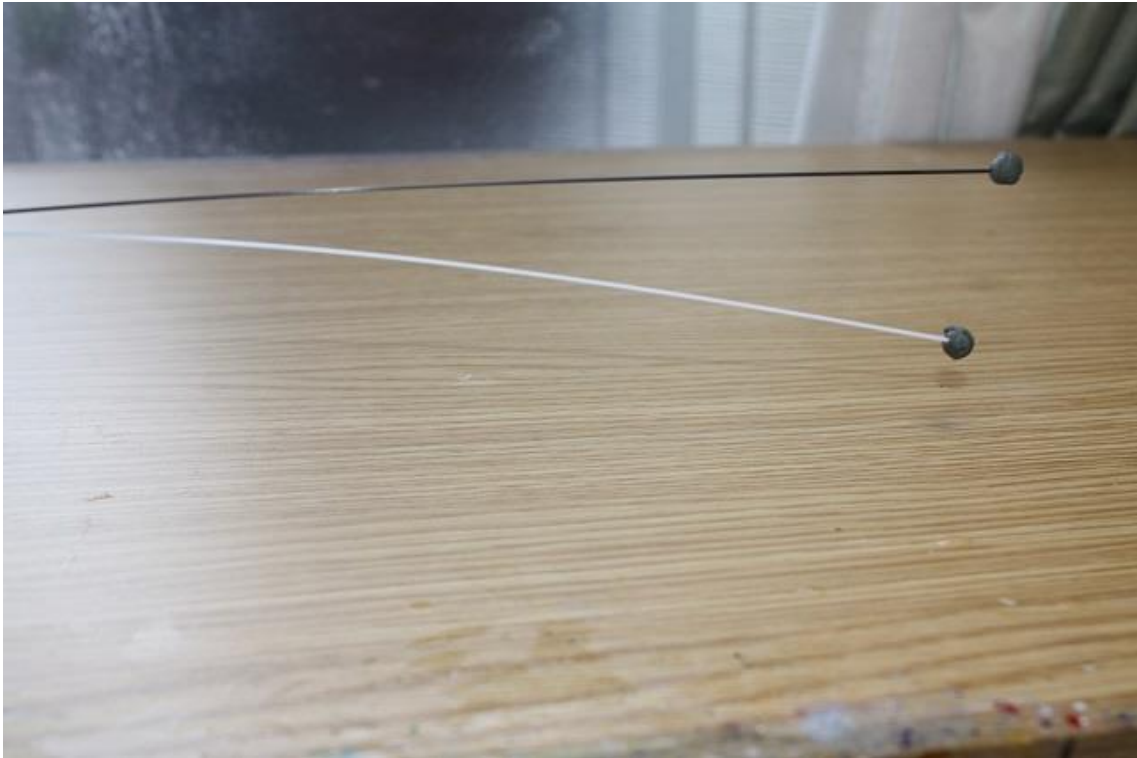
結論：竹→カーボン→グラスソリッド

*竹の数値に一般に公表されている数字と大きなヒラキがあるのは、編み棒は比較的、竹の表皮に近い硬い部分を使用しているためと思われる。

3. カーボンとグラスソリッドの硬度の違い

カーボンとグラスソリッドの硬度の違いについて、直径 1.0mm、長さ 300mm の素材の先端に、1.0g の粘土オモリを付けてみた。画像 2 からわかる通り、カーボンのほうが、グラスソリッドよりもしならないのがわかる。

この結果から、最近のチョーチンセット用の足長ウキにはカーボンが採用されている理由がわかると思う。90mm を超える足にグラスソリッドを採用した場合には、ウキが立ち上がる際にしなってしまい、違和感が発生するからである。



画像2：上側がカーボン、下側がグラスソリッド

4. 最近のヘラウキの足素材の流れ

最近感じることは、竹足のウキが減っていることである。関西の高名なウキ師の方々は、ヘラ竿の穂先と同じように、竹の表皮部分を4枚合わせにされ、それを削りだして、足にされていた。その仕上がりは非常に素晴らしいが、非常に手間がかかる工程である。今では、超高級ウキを除いて、竹の表皮部分を合わせた竹足のウキは姿を消してしまった。

また、チョーチン釣り用のウキを解説する際に詳細を述べるが、メジャートーナメントでの誘いの規制の強化から、チョーチン釣り用のウキの足の長さが長くなっている傾向がある。上述の硬度の問題から、カーボン製の足が主流になっている。

次回はいよいよトップについて、素材や塗り等、様々な観点から考察していきたい。